番傘川柳本社　11月句会

日　時　令和4年11月12日(土)
会　場　たかつガーデン
出　席……55名
司　会……森　茂俊
呼名復唱……西　美和子
記名清記……稲　葉　良岩

どこの街にも村にもそれぞれの夜がある。そんな分かりきったことに図らずも胸がざわつきながら、十一月十二日夜九時、私は上本町の夜景をぼんやり眺めていた。十一月本社句会は夜の六時半スタート。今回より句会部の工夫で参加者の負担を軽減した時間設定にはなったものの、やはり身体は慣れないものだ。数年前までは「さぁこれから」といった時間だったのに、退職を機に「早寝早起き」に切り替えてからは夜はどうも苦手に。

諸先輩の方々によると、句会は元々夜開催、昼開催の歴史はまだ浅いそうだ。句会の形態、内容だけでなく、時間帯や時間設定にも時代の波があるんだなと、あらためて大都会の夜景を目に納め、田舎への帰途に就いた。

席題　苦い　**銭谷まさひろ　選**

苦虫をつぶした更迭の写真　荻野　浩子
苦い過去忘れ原発再稼働　原田　正士
それとなく苦言をくれた糖衣錠　岡部　幹和
日記には苦いできごと軽く書く　西上　遊二
苦く苦しい恋からやっと醒めました　倉　周三
コーヒーが苦い話がこじれだす　北川ヤギエ
秋刀魚の苦み高嶺の花になるなんて　立堀　尚子
下積みの苦汁を飲んで今がある　菱木　誠
苦い酒無理に飲まされ左遷の地　木嶋　盛隆
昭和史の苦学した日のリンゴ箱　笹倉　良一
金持ちの苦い事情は知らんやろ　柴本ばっは
その奥の甘さが分かる年になり　島田　握夢
秋刀魚のワタの美味さを女理解せず　正信寺尚邦
苦虫をぐっと飲み込み大欠伸　柴田　桂子
友が逝った苦い話がまたひとつ　松本あや子
乳離れするよう乳首には苦み　正信寺尚邦
夕べのことはごめんなさいね焦げたパン　美馬りゅうこ
はらわたより苦い思いのサンマの値　岡部　幹和
後悔の胃に浸み渡る苦い酒　森　廣子
コーヒーの苦み別離の背に優し　松本　柾子
苦い目に合って年輪また増える　田中　薫
人間の性結末が苦過ぎる　倉　周三
今宵満月ひとりの酒はなぜ苦い　湯澤　孝扇
オブラート包んでみても苦いだろ　西上　遊二
無言劇日々の夕餉の苦い酒　田中美弥子
正座して苦いビールを飲まされる　中岡千代美
苦み走った男も苦いだけになり　西　美和子
苦くても頂く先輩のことば　小山　紀乃
金輪際恋などしない苦い過去　片岡　加代
苦い経験プラスに生きている八十路　白井　笙子
せきこんで好きなアンパン苦くなる　松本あや子
甘い水飲みすぎ苦い臭い飯　油谷　克己
苦みばかり増して八十路が嫌われる　竹村　穏夫
喪失の苦みが今を光らせる　松本　柾子
シャキッとした秋刀魚の苦みこの至極　柴本ばっは
言い勝って残る苦味を持て余す　原田　正士
オブラートちょっど切らした粉ぐすり　片岡　加代
ほろ苦い涙ものともせず美魔女　柴田　桂子
チョコパフェー苦い話を聞いている　鮒子田嘉子
苦い酒飲んで男の顔を彫る　田中　新一
苦い過去濾過して空が澄んでくる　菱木　誠
会うたびの苦言はきっと愛だろう　片岡　加代
ほろ苦い酒の肴はジャズがよい　銭谷まさひろ

宿題　結ぶ　　田中　薫　選

今すぐに握手戦はもう止めて　岩田　明子
行進が揃う戦に結びつく　本田　智彦
デモの列世界平和へ手を結ぶ　小山　紀乃
悪友と同盟毎日が愉快　岩田　明子
いざの時向こう三軒手を結ぶ　北川ヤギェ
律儀さが母の荷物の結び目に　鮒子田嘉子
結び方で愛縺れたり解けたり　大塚のぶよし
ほどけたら二度と結べぬ糸もある　立堀　尚子
結婚しなさい後悔するけれど　笹倉　良一
大切な人ですきつく命綱　片岡　加代
結びめの固さ気性をそのままに　田中　螢柳
愛と愛固く結んで八合目　田中美弥子
生涯を自己流通す結び方　滝川　重人
勝って口固く結んで役力士　吉冨ひろし
泥沼で結んだ指が逞しい　稲葉　良岩
あれこれを結び直してダイヤ婚　美馬りゅうこ
まだ生きて新米むすぶ指動く　西　美和子
男結びきり夫の料理番　小川賀世子
点と点結べば未来へと続く　鮒子田嘉子
七人の敵が結んだ果たし状　木嶋　盛隆
蝶結びほどく楽しみバースデイ　藤島たかこ
まだ独り出雲大社に行かぬから　小寺八重子
天国の君へアイラブユーで結びます　西澤　知子
不器用がバレるちょうちょのタテ結び　立堀　尚子
父母介護堪忍袋締めなおす　原田　正士
因習に寄らず実利と手を結ぶ　吉冨ひろし
心せねばコロナインフルグータッチ　岡部　幹和
G線上のアリアで結ぶ秋夜長　柴本　ばっは
留学生二つの国の懸け橋に　西上　遊二
緩む度結び直した赤い糸　油谷　克己
ぎゅっと紐結んで決意朝の靴　穐山　常男
結び目の不安が大魚捕り逃がす　滝川　重人
これからを抗がん剤と手を結ぶ　竹村　穏夫
ありがとうの言葉で結ぶさようなら　田中　新一
いまもまだ結ばれなかった人を恋う　中岡千代美
結ばれて綴るこの世の人もよう　大西　将文
実印の朱色にいのち握られる　田中　新一
月満ちて母子との絆固結び　原田　正士
呱呱の声十指に結ぶ未来絵図　岡部　幹和
人と人結ぶ言葉はありがとう　田中　薫

宿題　瓶　　西澤　知子　選

名月が一升瓶の底で酔う　穐山　常男
一升瓶の底は昼寝に丁度いい　三好　聖水
重すぎてペットボトルに負けた瓶　八木　幸彦
劇薬と書いてボトルをキープする　倉　周三
どうやってビー玉入れたラムネ瓶　田中　薫
瓶詰めになってしまった人魚姫　大西　将文
溶けた瓶核廃絶へ身をよじる　岡部　幹和
ビー玉にロマンがあったラムネ瓶　八木　幸彦
さわやかなメロディー弾むジャムの瓶　田中　新一
カルピスの瓶が知ってる淡い恋　松本　柾子
住所氏名とニトロの瓶を持たされる　正信寺尚邦
ボジョレーのコルクはポンと酔っている　北川ヤギェ
瓶詰めのマーマレードが美しい　下岡　昌美
腰のくびれ色っぽいなあラムネ瓶　原田　正士
解禁のボトルと明日を語り合う　松本　柾子
お茶旨い根強い人気魔法瓶　本田　智彦
ビール瓶一本五円で売れました　下岡　昌美
駅弁とトリスの瓶とひとり旅　田中　薫
蓋もろとも入れてしまった唐辛子　島田　握夢
空き瓶の山にカランと冬の音　菱木　誠
何の種だったのか瓶をながめて思案する　島田　握夢
香水の瓶きっぱりとナルシスト　美馬りゅうこ
大海へボトルシップは夢馳せる　油谷　克己
虫メガネではありませんウニの瓶　片岡　加代
梅酒瓶あけると母が喋りだす　田中　新一
憤懣がうずくまってる瓶の底　竹村　穏夫
頼み事ただひとつだけ瓶の蓋　中岡千代美
子育てしてる値上げがつらい哺乳瓶　菱木　誠

フェイクです松茸もどき土瓶蒸し　荻野　浩子
ガラス瓶の中の平和に甘んじる　田中美弥子
恋人か妻か寄り添う一升瓶　穐山　常男
瓶の底にあるときめきを待つ今宵　小山惠美子
あれこれと心づもりの魔法瓶　木嶋　盛隆
細首瓶に詰めた秘密がベロを出す　森　廣子
瓶の中で戦艦大和よみがえる　三好　聖水
一升瓶抱えうわばみ黒田節　北川ヤギェ
瓶の中タイタニックを組み立てる　松本あや子
哺乳瓶母はますます母になる　笹倉　良一
皆既月食見逃がした一升瓶　片岡　加代
喜怒哀楽一升瓶がのみこんだ　西澤　知子

宿題　じわり　大堀　正明　選

ひとりになったんだ灯りの消えた部屋　中岡千代美
じっと見詰めじわりゴリラが動きだす　滝川　重人
コロンボがじわりと寄ってくる酒場　八木　幸彦
じわりじわりと誘っています好きな人　松本あや子
米中がじわりじわりとせめぎ合う　西上　遊二
じんわりと父の言葉が効く齢　鮒子田嘉子
じわり効くように与えるほれ薬　吉富ひろし
いま頃にじわりとボディブロー効く　田中　螢柳
赤ペンがじわり圧力かけてくる　片岡　加代
漢方薬のようにじんわり効く皮肉　倉　周三
歳月や二人は相似形になる　笹倉　良一
サウナでじわり一日の憂さ絞り出す　立堀　尚子
悔しさがまつ毛に溜まる僅差負け　阪本　秀子
古典落語五臓六腑にじわりくる　西澤　知子
真綿で首締めるがごとき吐かす泥　荻野　浩子
けつまづくじわりと老いの声がする　藤島たかこ
温暖化じわり地球を食べていく　鮒子田嘉子
一言がじわりじわりと身に染みる　木嶋　盛隆
漢方のようにじわりと母の愛　柴田　桂子
またじわり相談される金の事　三好　聖水
砂漠化がじわじわ進むボクの脳　大塚のぶよし
漢方の効いているのかいないのか　中岡千代美
胸奥にじわり嬉しさこみ上げる　阪本　秀子
誘眠剤がじわりと効いてきた夜明け　西　美和子
聴診器じわりいのちに触れてくる　田中　新一
じんわりと孤独に8波やって来る　滝川　重人
一言のアッパーじんわり効いてくる　田中美弥子
わたくしにじわり似てくる孫の顔　八木　幸彦
やんわりと外した的に諭される　岡部　幹和
杯勧めじんわり剝がす化けの皮　原田　正士
じんわりと男を諭す月の影　大西　將文
背後からじわじわ老いが忍び寄る　倉　周三
ゆっくりと噛めば私の味が出る　笹倉　良一
支持率が危険水域超えてゆく　菱木　誠
華やかさは無いがじわりと人間味　山藤　聖子
熱燗がじわり響いてくる齢　白井　笙子
熟考へじわり覚悟が出来あがる　北川ヤギェ
外堀をじわりと埋めて逃がさない　木嶋　盛隆
秋深し湯豆腐熱燗でじわり　荻野　浩子
危機一髪だったなじわり脂汗　大堀　正明

宿題　事情　岩田　明子　選

知らんけど付けて近所の事情通　田中　薫
だとしても会議中寝ちゃ駄目でしょう　大塚のぶよし
来月の十五日まで待ってくれ　島田　握夢
お隣の引越し行く先も告げず　山藤　聖子
離婚したらしい事情はうすうすと　松本あや子
何か事情あるのか禁酒したと言う　北川ヤギェ
一身上の都合と書いておく事情　田中美弥子
ご事情はわかりましたと不採用　白井　笙子
長じて分かる父の帰宅が稀なわけ　立堀　尚子
親たちの事情が子らに影落とす　鮒子田嘉子
弁護士に教えてもらう法の穴　笹倉　良一
欠席になりますまずは金がない　吉富ひろし
宗教二世つらい事情があったのね　西　美和子
結婚が揉めるイエスか日蓮で　谷口　東風
遺品整理一つ一つに泣き笑い　西　美和子
実はねぇ口に出来ない悩みごと　松本あや子

ご辞退は一身上の都合です　田中　新一
罪は罪どんな事情があろうとも　鮒子田嘉子
裏読みはしない真っ直ぐ受け止める　柴田　桂子
アドレスを変える切ない裏事情　松本　柾子
ご事情はおありでしょうがそこのとこ　田中　螢柳
不都合を大人の事情などと言う　立堀　尚子
膝交えおとなの事情聞いてやる　滝川　重人
そんな事知るか聞きたくない事情　三好　聖水
病院へ何時も来る人まだ来ない　木嶋　盛隆
なれそめはみんな承知のお月様　大西　将文
見ないふり大人の事情ある二人　田中美弥子
ポーカーフェイスおたおたなんかするもんか　柴田　桂子
二度の切腹懲りてノンアルコール　原田　正士
そんなことなら別れなはれと言うたげる　中岡千代美
訳ありの二人が食べる毒キノコ　銭谷まさひろ
ご推察くださいませと目を伏せる　美馬りゅうこ
乗るはずの汽車を見送る遠ざかる　正信寺尚邦
仏滅もこだわることのない事情　穐山　常男
スーパーで男同士は目をそらす　森　茂俊
詳しくはまあ交番で聞きましょう　中岡千代美
ノンフィクションそうだったんだやっと今　片岡　加代
少年の手銃持つ訳が痛ましい　原田　正士
話せば長くなりますがいいですか　小川賀世子
一冊にしろと財布が言うのです　岩田　明子

宿題　競う　片岡　加代　選

一千万狙いＭＩ五千組　原田　正士
旅割を使わな損と観光地　山藤　聖子
鰻たべ長生き競うことにする　白井　笙子
長生きを妻と競って恙無い　田中　薫
手作りのチョコで愛情競い合う　八木　幸彦
薄切りを競っています土瓶蒸し　岩田　明子
同窓会競う若さを笑う老い　小山惠美子
サラブレッド走る姿はビューティフル　西上　遊二
ライバルがいるから僕も走れます　鮒子田嘉子
満月と禅問答をして負ける　正信寺尚邦
孫二十歳勝てることなど何もない　田中　薫
飛ぶもぐる小兵が沸かす大相撲　藤島たかこ
イケメンにあっさりひたむきが負ける　島田　握夢
時間との競争ですとデリバリー　正信寺尚邦
核競ういずれ人間共倒れ　本田　智彦
いのちある限り自分と競い合う　田中　新一
ママ同士競い子供は横を向く　鮒子田嘉子
綱引きを競う子の意地親の意地　松本あや子
いつまでも競うフェイクと本物と　吉富ひろし
ジレンマは身の内にある焦りだろ　柴田　桂子
対岸に咲いて自ずと妍競う　大堀　正明
てらい無く秋を咲かせる野辺の彩　岡部　幹和

馬耳東風競うことなくのんびりと　柴本ばっは
たけくらべの恋は悲恋のまま終わる　笹倉　良一
一点を笑う勝者と泣く敗者　菱木　誠
ワクチンの回数なんて競わない　銭谷まさひろ
簡単な事だジャンケンで決めよう　三好　聖水
スタートのラインに着いたランドセル　木嶋　盛隆
母さんも若い時にはモテたんよ　中岡千代美
も一人の自分に勝ったり負けたり　白井　笙子
日当たりのいいソファー猫に先取られ　島田　握夢
ライバルよさらば続きは天国で　立堀　尚子
ダイエット競うものではありません　西澤　知子
ロボコンへ学生スキル競い合う　北川ヤギエ
抜きんでて見る天辺が美しい　阪本　秀子
ご予算もございましょうがラッピング　美馬りゅうこ
すり減った心で競う棒グラフ　森　廣子
オロナインをちちんぷいぷい打ち負かす　原田　正士
年金と競い合ってる物価高　中井　佳子
低金利競う相手は高金利　楠本　晃朗
競争を止めたら胃痛消えている　小川賀世子
柿熟れて地域対抗リレーです　西澤　知子
ジャンケンもアミダも負けて皿洗う　森　茂俊
今度逢う時まであなたより痩せる　三好　聖水
ホップステップいつもジャンプで競り負ける　片岡　加代